

# 平成21年度中小企業金融実態調査概要

平成21年8月19日  
富山県商工会連合会

## ・調査目的

県下商工会地区における小規模企業等の経営概況や金融に関する動向等を把握し、中小企業金融の円滑化に資するための基礎資料を得ることを目的として調査を実施した。

## ・調査対象および方法

商工会地区の中小企業（特に小規模事業者）のうち、1110企業を無作為抽出し、商工会の経営指導員の面接により調査を行った。

## ・調査時期および実施期間

調査書記入時点	平成21年7月1日 現在
調査実施期間	平成21年7月3日～7月17日

## ・回答状況

調査対象企業数	1110社
回答企業数	1052社（回収率94.8%）

## ・調査結果の概要

売上高の減少企業の割合及び採算面の赤字企業の割合が増加しており、特に業種では運輸業、製造業の落ち込みが見られる。本年10月～12月の資金繰りでは、苦しくなると予想した企業の割合が半数を超えた。苦しくなる原因は、売上高予定額未達、利益予定額の未達を挙げる割合が多く、年後半の企業業績に懸念を抱いている状況にある。

今後1年間に借入計画があるとする企業の割合は29.0%と前年調査対比微増ではあるが、「工場・店舗等の補修・改修」「車両等の購入」等、前向きな設備投資のための借入金使途に増加傾向が見られる。

原材料価格については、企業の43.8%が対前年比較において上昇したと回答しているが、前年比較では28.8%減少したことから、収益への影響、販売価格への転嫁状況、資金繰り面に改善の兆しが見られる。

制度融資の借入については、最近1年間に保証協会付で借入をした企業の割合は42.4%へ拡大しているが、円滑に融資が受けられた企業の割合が前年比較で減少し、金融機関の審査が厳しくなったと回答した割合が増加した。従来より提出書類が増えるなど金融機関の審査態度に慎重な姿勢が窺われる結果となった。

項目別の回答は次の通りである。

今回の特徴点（前回20年7月調査時点との比較）

#### 1．企業の営業の状況について

- (1) 年間売上高については、増加した企業の割合が、前年比8.7ポイント減少し、減少した企業の割合は9.0ポイント増加した。採算状況については、黒字企業が3.3ポイント減少し、赤字企業が、5.8ポイント増加した。
- (2) ここ1年間に、元請等との取引条件の変更状況は、34.1%の企業が元請等との取引条件に変更があり、業種では製造業・建設業の順で多く見られた。
- (3) 10～12月の資金繰り予想では、苦しくなるは3.5ポイント増加し52.8%と半数を超えた。楽になるは前回と変わらず、資金繰りは多忙化傾向にある。苦しくなる業種では、運輸業、建設業、製造業の順で高い。苦しくなる要因として、「売上高予定額未達」が14.2ポイント増加し75.7ポイントと最も高く、次に「利益予定の未達」が53.3ポイントの順となっている。
- (4) 前回に項目を追加した原材料価格の調査については、回答した企業の43.8%は上昇したと回答したが、前回調査比較では28.8ポイント減少した。収益への影響状況に対して影響はほとんどないが11.6ポイント増加した。資金繰りへの影響状況については悪化した割合は9.8ポイント低下した。

#### 2．金融機関との取引及び借入状況について

- (5) 最近6ヶ月間の借入申し込みは、1.0ポイント増加の51.9%。また借入額では、3000万円未満の借入企業は7.2ポイント増加し、3000万円超の借入企業は4.8ポイント減少するなど二極化の様相を呈している。なお「借入金利2%未満」の層は、3.5ポイント減少して13.9%に下がった。  
借入に対する満足度については、満足と回答した企業の割合は79.3%であったが、対前年対比で8.0ポイント減少し、不満の回答は7.5ポイント増加した。
- (6) 預金は、昨年6月に比べ増加した企業が0.1ポイント低下し、減少した企業は1.5ポイント増えた。要因として、1年前と比較した採算状況が「悪化した」と回答した企業の割合は57.0%と前年対比で5.9ポイント増加していることに裏づけられる。
- (7) 「貸し渋り」の有無は、「ある」が6.1ポイント増加し、28.5%の事業者に及んでおり、「貸し渋り」の内容は「金額査定減」「追加融資不可」「保証協会の付保」の順に多い。
- (8) 借入返済の条件変更は、「希望する」企業が3.6ポイント増加している。  
条件変更は「返済期間の延長」「長期資金への切替」「元金返済の一時据置」の順に多い。
- (9) 借りにくい、借りられない理由では、「業績が思わしくない」とする回答が42.8%

- 3%と昨年比較では横ばい状態となっているが、借入残高が多い割合は増加した。
- (10) 今後の借入計画(1年間)では、「ある」と回答した企業は29%あり、うち設備資金では、「工場・店舗等の補修・改修」「車両等の購入」が増加するなどの前向きな動きが一部見られ、「新規事業に取り組むための設営資金」も6.6%あった。
  - (11) 借入を考える場合の懸念事項においては、「業況の先行き見通し難」「借入後の返済力」「金融機関の対応」の順で多く見られた。
  - (12) 経営が著しく悪化した場合の相談先に45.1%の企業が「商工会」を挙げており、次に26.8%が「民間の金融機関」、11.8%が「税理士」の順となっている。

### 3. 制度融資について

- (13) 制度融資の利用状況は、前回調査と比べると「利用がある」は4.9ポイント増加し、「利用がない」は6.5ポイント減少した。

制度融資について、融資条件の緩和や手続きの簡素化、保証料の軽減を求める等の意見が寄せられている。

- (14) 国や県、市町村の融資制度は、「経営の役に立っている」と回答した企業は97.4%を占めた。一方で「利用しなかった理由」として、「利用する必要ない」が4ポイント増加。他に「融資条件に合致せず」「手続きが面倒」等が挙げられ、簡便な申込み方法への見直しなど改善を希望する企業も見られる。中小企業金融の円滑化に向けた適時適切な対応が求められる。

### 4. 最近の諸制度について

- (15) 本年4月に改正されたマル経融資については、「返済限度額の増大」「返済期限の延長」に対して55.2ポイントがメリットになると回答した。

- (16) 19年10月に信用保証協会は「責任共有制度」を導入した以降、最近1年間に保証協会付を利用した割合は、10.8ポイント増加し、「円滑に保証をうけられた」は69.5%、「少し難しかった」は25.8%、「円滑でなく難しかった」は3.6%と回答している。

金融機関の態度の変化については、「あまり変化はなかった」は6.0ポイント減少して51.6%、「従来よりも提出書類が増え、融資実行まで時間を要するようになった」は5.4ポイント増加して26.9%、「金融機関の審査が厳しくなった」は17.3%と回答している。回答した企業の46.2%は金融機関の態度にさまざまな変化を感受していると窺える。

- (17) 信用保証制度については、信用保証料の引き下げや信用保証枠の拡大、提出書類の軽減等を求める意見が寄せられている。

調査結果( % = 構成比 )

1 回答企業の概要

( 1 ) 業種

建設業	26.0%	飲食・宿泊業	9.2%
製造業	19.8	サービス業	13.4
卸売業	1.8	運輸業	2.7
小売業	24.8	その他	2.4

( 2 ) 創業してから何年

2年未満	1.4%	20年未満	10.7%
5年未満	3.5	30年未満	16.3
10年未満	6.2	50年未満	32.0
15年未満	7.3	50年以上	22.4

( 3 ) 常用従業員数

0人	28.3%	6～10人	11.4%
1人	15.9	11～15人	6.7
2人	11.4	16～20人	3.1
3～5人	18.3	21人以上	4.8

( 4 ) 年間売上高

	500万円未満	2.6%
	500～1000万円未満	12.1
	1000～3000万円未満	30.2
	3000～5000万円未満	16.0
	5000～1億円未満	17.1
	1億円以上～	
	1億5000万円未満	8.4
	1億5000万円以上	13.0
	未記入	0.7

## 2 営業の状況

### (1) 年間売上高の増減率（対前年同期比）

年間売上高の増加企業は、全体で24.5%となり前回調査より8.7ポイント低下した。これを業種別に見ると、サービス業で29.1%が増加と回答。さらに規模別では、21人以上、16～15人、6～10の順で増加率が高い。

売上減少は全体で74.4%となり前回調査より9.0ポイント増加した。業種別にみると、卸売業、運輸業、製造業の順で減少率が高い。従業員規模では、16～20人の規模で落ち込みが目立った。

年間売上高の増減率		21年	20年	19年
増 加	5%未満	11.9%	14.4%	20.3%
	5～10%未満	6.1	9.2	10.8
	10～20%未満	3.9	6.1	4.3
	20%以上	2.6	3.5	4.6
	計	24.5	33.2	40.0
減 少	5%未満	19.1	20.5	20.5
	5～10%未満	23.1	21.2	20.2
	10～20%未満	15.2	15.3	12.1
	20%以上	17.0	8.3	6.6
	計	74.4	65.4	59.4

### (2) 取引条件の変更状況

ここ1年間の商品販売先、工事元請先、製造発注元等との取引条件の変更状況は、61.3%があまり変化はなかったと回答。一方で34.1%の企業がなんらかの取引条件の変更を強いられていると回答しているが、20年比較では3.7%減少した。

変更状況	21年	20年
納期の短縮、支払サイトの変更等あった	4.7%	5.2%
元請等から受注価格の引き下げがあった	18.3	14.0
商品販売先から価格の引き上げがあった	11.1	18.6
あまり変化はなかった	61.3	55.9

### (3) 採算の状況

#### ア、現在の採算状況

黒字企業が20.0%と前回から3.3ポイント減少した。赤字企業は、38.6%と5.8ポイント増加し、採算状況は前回より悪化している。

黒字企業を業種別にみると、卸売業、サービス業、飲食業の順で高く、赤字企業では運輸業、製造業、建設業の順で高い。

また従業員別での黒字企業は、21人以上、0人、1人の順で高く、赤字企業は、16～20人、6～10人、3～5人の順で高い。

現在の採算状況	21年	20年	19年
黒字	20.0%	23.3%	28.9%
赤字	38.6	32.8	24.6
収支トントン	39.9	42.8	45.6

#### イ、採算状況（対前回比較）

採算状況を前回と比較すると、好転したが0.1ポイント低下し、悪化したが5.9ポイント増加して前回から50%を超え、採算状況の悪化が進んでいる。業種別では、運輸業、製造業、建設業の悪化が際立っている。

採算状況	21年	20年	19年
好転した	6.6%	6.7%	12.3%
悪化した	57.0	51.1	38.2

#### (4) 資金繰り状況

##### ア、今年10～12月の資金繰り予想

「大変苦しくなる」と「苦しくなる」の合計では、前回より3.5ポイント増加し、52.8%と半数を超えた。「変わらない」が4.1ポイント減少して29.7%。「楽になる」は前回と変わらず0.8%。資金繰りが悪化すると予想する企業の割合が高く、業績への不安を抱いている。

「苦しい」を業種別でみると、運輸業、建設業、小売業の順で高い。

今年10～12月の資金繰り	21年	20年	19年
大変苦しくなる	11.6%	8.8%	5.4%
苦しくなる	41.2	40.5	34.3
計	52.8	49.3	39.7
変わらない	29.7	33.8	46.1
楽になる	0.8	0.8	1.6
計	30.5	34.6	47.7
わからない	15.1	14.1	11.0

##### イ、資金繰りが苦しくなる原因（2つ以内で回答）

「苦しくなる」理由は、「売上が予想額に達しない」と「利益が予定に達しない」の割合が圧倒的に高く、前年に続きともに50%を超えている。

「経費が増大」は17.0ポイント減少の13.2%へ低下した。

（2つの複数回答）

苦しくなる原因	21年	20年	19年
売上予定額未達	75.7%	61.5%	71.5%

売上利益予定未達	53.3	55.8	45.5
手形受領多い	0.9	1.2	2.1
手形期日長期化	1.3	1.2	1.7
金融機関借入不円滑	8.8	5.6	4.5
借入返済額大きい	19.5	17.5	24.0
在庫増大	3.1	1.6	2.9
売上代金回収悪い	4.9	7.2	8.3
焦付き・貸倒れ発生	1.3	2.5	4.1
経費の増大	13.2	30.2	14.9
その他	1.8	2.5	2.9

### (5) 原材料価格の上昇状況

#### ア．原材料価格を含む仕入・調達価格の比較（前年比較）

43.8%の企業は原材料価格等が上昇したと回答しているが、前年比較で28.8ポイント低下し、変化は少ないは23.6ポイント増加した。

	21年	20年
10%以上上昇した	35.6%	44.2%
20%以上上昇した	7.2	19.4
30%以上上昇した	1.0	9.0
変化は少ない	44.7	21.1
値下がりした	3.7	0.6

#### イ．収益への影響状況

57.0%の企業が原材料価格等の上昇によって収益を圧迫していると回答しているが、前年より20.7ポイント減少した。

	21年	20年
収益を大きく圧迫している	15.6%	30.3%
やや圧迫している	41.4	47.4
影響はほとんどない	27.7	16.1

#### ハ．販売価格等への転嫁状況

38.8%の企業はまったく販売価格等に転嫁できていないと回答。20%以下の企業は29.3%と回答したが、前年比較で4.4%減少し販売価格等への転嫁が窺われる。

業種では、運輸業の60.0%がまったく転嫁できていないと回答。

	21年	20年
1%～20%転嫁できている	29.3%	33.7%
21%～50%転嫁できている	3.7	6.3
51%～80%転嫁できている	2.8	5.2

81%～100%転嫁できている	4.6	4.5
まったく転嫁できていない	38.8	40.2

## 二．資金繰りへの影響状況

35.5%の企業は資金繰りへの影響について悪化したと回答しているが、前年比較では9.8%低下した。

業種的には、運輸業の60.7%が資金繰りが悪化したと回答しており、際立っている。

	21年	20年
資金繰りが悪化した	35.5%	45.3%
資金繰りに変化はない	45.1	44.8
資金繰りが好転した	0.3	0.7

## ホ．原材料価格の上昇について、ご意見があればご記入ください。

全てを記載した。

- ・ 特に、公共工事の単価・歩掛りが悪く赤字である。
- ・ 発注先から受注単価の引き下げをされているのに、材料単価、工具単価は安くならないため経営はきびしい。
- ・ 単純には比較はできない。
- ・ 原材料価格の上昇は、1年前から高騰しています。1年前と比較は難しい。
- ・ 商品に価格をあまり転嫁しにくい。

## 3 金融機関との取引状況 等

### (1) 6月末預金高はどれくらいありましたか

前年と比較すると、500万円未満が4.6ポイント増加し、500万円超が4.2ポイント減少している。

預金高	21年	20年	19年
100万円未満	20.4%	18.6%	19.0%
100～300万円未満	25.1	23.4	24.3
300～500万円未満	14.8	13.7	16.9
500～1000万円未満	16.0	13.6	16.2
1000～3000万円未満	12.4	13.5	13.3
3000～5000万円未満	3.6	5.5	2.8
5000万円～1億円未満	2.4	4.2	3.1
1億円以上	2.0	3.8	1.8

### (2) 昨年の6月と比べ預金は増加しましたか、それとも減少しましたか。



増加したと回答した企業は0.1ポイント減少し24.5%。

減少したと回答した企業は1.5ポイント増加し72.2%。業種では、建設業、運輸業、小売業の順で減少している。

		21年	20年	19年
増 加	5%未満	12.5%	12.8%	23.3%
	5～10%未満	6.3	4.8	6.4
	10～15%未満	1.9	1.7	1.5
	15～20%未満	1.0	1.0	0.7
	20%以上	2.8	4.3	3.0
	計	24.5	24.6	34.9
減 少	5%未満	28.3	29.9%	29.3%
	5～10%未満	18.4	18.6	17.2
	10～15%未満	8.8	7.9	4.4
	15～20%未満	4.4	4.1	2.1
	20%以上	12.3	10.2	8.2
	計	72.2	70.7	61.2

### (3) 今年6月末の借入額

前回より1000万円未満で3.5ポイント、1000万円～5000万円未満で4.3ポイントそれぞれ増加した。また5000万円超では、前回比5.4ポイント減少し階層によって二極化している。

また、借入なしの企業は1.7ポイント減少し13.4%となる。

借入額	21年	20年	19年
300万円未満	15.1%	13.7%	12.4%
300～500万円	9.1	9.0	10.0
500～1000万円	12.7	10.7	14.9
1000～3000万円	22.5	18.8	26.4
3000～5000万円	11.0	10.4	10.3
5000～1億円未満	7.5	9.5	6.4
1億円以上	5.9	9.3	6.9
なし	13.4	15.1	10.5

### (4) 現在の借入先(多い順に3つ回答)

前回調査と比べ、普通銀行が4.8ポイント、信用金庫が0.4ポイント減少し、日本政策金融公庫は2.0ポイント、農協は1.2ポイント増加している。

その他は役員借入・高度化資金等であった。

現在の借入先	21年	20年	19年
普通銀行	77.6%	82.4%	66.4%
信用金庫	38.7	39.1	34.9
信用組合	9.1	8.4	7.5
日本政策金融公庫(旧国金)	41.8	41.3	45.6
日本政策金融公庫(旧中小公庫)	6.9	5.4	3.3
商工中金	2.8	3.5	2.3
農 協	5.2	4.0	5.1
その他	3.3	4.0	3.3

#### (5) 借入額は(昨年12月頃に比べて)

「増えた」39.9%、「減った」33.9%、「変わらず」26.0%となり、「増えた」が6.7ポイント増加し、「減った」が1.7ポイント「変わらず」が4.6ポイントそれぞれ減少した。

「増えた」企業は、業種では卸売業、製造業、建設業の順になっている。

「減った」企業は、サービス業、飲食業、小売業の順になっている。

借入額は	21年	20年	19年
増えた	39.9%	33.2%	30.0%
減った	33.9	35.6	29.8
変わらず	26.0	30.6	28.7

#### (6) 金利は(昨年12月頃に比べて)

「上がった」が14.3ポイント減少し、「下がった」は6.1ポイント増加した。また、「変わらず」が8.3ポイント増加した。

業種では、「上がった」企業は卸売業、製造業、建設業の順になっている。

金利は	21年	20年	19年
上がった	9.3%	23.6%	26.9%
下がった	9.2	3.1	2.6
変わらず	80.3	72.0	57.5

#### (7) 現在の借入金利(平均)

平均金利は、「2.0%未満」が3.5ポイント減少し13.9%となり、「2.0~2.5%未満」は8.4ポイント増加し56.7%となった。また3.0%超では、2.1ポイント減少した。

階層別では、3.0%未満が89.7%を占めた。

現在の借入金利	21年	20年	19年
---------	-----	-----	-----

2.0%未満	13.9%	17.4%	11.6%
2.0~2.5%未満	56.7	48.3	43.1
2.5~3.0%未満	19.1	21.2	20.7
3.0~3.5%未満	5.1	5.2	6.2
3.5~4.0%未満	1.7	3.4	2.3
4.0~4.5%未満	0.3	0.5	1.5
4.5%以上	0.3	0.4	0.2

#### (8) 最近6ヶ月間の借入申込(借入申込実績)

「した」が前回より1.0ポイント増加し、前年に続き50%を超えた。業種別では卸売業、製造業、建設業、運輸業の順で多く4業種共50%以上が借入申込をしたと回答。「しなかった」は0.2ポイント減少し、小売業、飲食業、サービス業の順で多く3業種共50%以上が借入申込をしなかったと回答。

借入申込	21年	20年	19年
した	51.9%	50.9%	45.7%
しなかった	47.7	47.9	43.0

#### (9) 借入の満足度

「非常に満足」が0.5ポイント、「まあ満足」が7.5ポイントそれぞれ減少した。また「不満」は7.3ポイント、「断られた」は0.2ポイント増加しており、借入の満足度は低下した。

「不満」と回答した業種では、運輸業、製造業、建設業の順で高い。

借入の満足度	21年	20年	19年
非常に満足	23.8%	24.3%	22.2%
まあ満足	55.5	63.0	68.1
不満	16.4	9.1	6.5
断られた	2.4	2.2	1.4

#### (10) 「貸し渋り」の有無

「ある」が前回より6.1ポイント増加し、「ない」は5.9ポイント減少した。

「ある」を業種別で見ると、卸売業、運輸業、建設業の順で高い。

「貸し渋り」の有無	21年	20年	19年
ある	28.5%	22.4%	16.0%
ない	69.7	75.6	81.6

#### (11) 「貸し渋り」の内容(3つの複数回答)

「貸し渋り」の内容をみると「金額査定減」が7.7ポイント増加し47.4。「追加融資不可」5.1ポイント、「保証協会の付保」5.2ポイント、「審査期間の長期化、資料の増加」は1.3ポイントそれぞれ減少した。

また、「既往貸付の回収」0.3ポイント、「金利の上乗せ」8.0ポイント

とそれぞれ減少している。

「貸し渋り」の内容	21年	20年	19年
追加融資不可	36.1%	41.2%	41.2%
金額査定減	47.4	39.7	38.2
保証協会の付保	33.0	38.2	29.4
担保・保証人の強化	13.4	19.1	11.8
審査期間の長期化、資料の増加	23.7	25.0	14.7
既往貸付の回収	14.4	14.7	38.2
金利の上乗せ	8.2	16.2	20.6
その他	2.1	0.0	2.9

#### (12) 借りにくい、借りられない理由 回答数構成比

「借入残高多い」が7.7ポイント増加し37.1%。一方で「業績が思わしくない」が0.3ポイント減少し42.3%を占めた。「担保力がない」は3.1ポイント減少し7.1%であった。

その他では、店主の高齢、既に条件変更したためなどの意見があった。

借りにくい、借りられない理由	21年	20年	19年
業績が思わしくない	42.3%	42.6%	20.6%
借入残高が多い	37.1	29.4	70.6
担保力がない	7.2	10.3	5.9
しっかりした保証人がいない	1.0	2.9	0.0
取引実績がない	1.0	2.9	0.0
取引実績が悪い	1.0	0.0	2.9
その他	3.1	1.5	0.0

#### (13) 借入返済の条件変更(希望の有無)

条件変更を「希望する」企業が、前回調査と比べ3.6ポイント増加し、「希望しない」は、2.5ポイント減少した。

条件変更を「希望する」業種では、卸売業、運輸業、製造業、建設業の順で高い。

条件変更	21年	20年	19年
希望する	25.4%	21.8%	15.6%
希望しない	71.9	74.4	71.1

#### (14) 希望する条件変更

「元金返済の一時据置」が3.4ポイント増加した。一方で「返済期間の延長」が5.1ポイント、「長期資金への切替」は1.3ポイント、「担保等の軽減」1.9ポイントそれぞれ減少した。

希望する条件変更	21年	20年	19年
----------	-----	-----	-----

返済期間の延長	50.9%	56.0%	44.2%
長期資金への切換	21.0	22.3	32.6
元金返済の一時据置	18.3	14.9	15.8
担保等の軽減	2.7	4.6	2.1

#### (15) 条件変更を希望する理由

「売上高の減少」は9.3ポイント増加の46.4%となり、前回は大幅に上回った。「借入返済額過重」も増加に転じた。一方で「取引条件の悪化」は7.2ポイント低下した。

「売上高の減少」を業種別で見ると運輸業、製造業、建設業の順で比率が高くなっている。

希望する理由	21年	20年	19年
借入返済額過重	39.3%	37.7%	51.6%
売上高の減少	46.4	37.1	33.7
借入難	1.8	5.7	3.2
経営外への資金流出	0	0.6	1.1
不良債権の発生	0	1.1	1.1
取引条件の悪化	3.1	10.3	6.3
その他	0.9	4.6	0.0

#### (16) 条件変更の難易

前回調査と比べ、「交渉次第で何とかなる」は7.3ポイント、「容易である」は3.3ポイントそれぞれ増加した。また「難しい」は15.6ポイント低下し大幅に減少した。

条件変更の難易度は前回より低下している。

条件変更の難易	21年	20年	19年
容易である	6.7%	3.4%	4.2%
交渉次第で何とかなる	49.6	42.3	52.6
難しい	33.0	48.6	36.8

#### (17) 金融機関からの借入金返還要求の有無

「ある」が4.9%で、前回と比べ1.9ポイント増加している。

業種別では飲食業、建設業、小売業の順で高い。

借入金返還要求	21年	20年	19年
ある	4.9%	3.0%	3.6%
ない	92.8	94.6	84.4

#### (18) 経営が著しく悪化した場合の相談先

先行きに問題が生じたとき、まず第一に相談に行くところは商工会45.1%

で前回比1.7ポイント増加し、次に民間金融機関26.8%で前回比4.9ポイント減少している。

今回から相談先に「税理士」を加えたが、11.8%を占めた。

「その他」では、家族、元請企業等の回答があった。

相談先	21年	20年	19年
商工会	45.1%	43.4%	48.4%
商工会連合会	0.9	0.6	0.5
県・支援センター	0.7	2.4	0.8
民間金融機関	26.8	31.7	24.9
政府系金融機関	2.7	2.9	2.1
親戚・友人・知人	5.0	7.7	5.9
税理士	11.8		
その他	1.8	5.7	4.1

#### 4 借入計画 等

##### (1) 今後の借入計画(1年間)

「あ る」は前回と比べ0.6ポイントと微増している。

業種別にみると、運輸業、卸売業、製造業、建設業の4業種は前回に続き30%を超えている。

規模別では、16~20人、11~15人、21人以上、6~10人の従業員規模が40%台を超えている。

借入計画	21年	20年	19年
あ る	29.0%	28.4%	26.2%
な い	68.3	68.8	72.6

##### (2) 計画ある場合の資金使途(未記入除外、回答数構成比)

「設 備」の使途では、前回比「工場・店舗等の補修・改修」「車両等の購入」「パソコン等のIT機器」が増加しており、「製造機器・ラインの増設」は減少している。

今回「新事業に取り組むための設営資金」を追加し、6.6%の回答があった。

一方、「運 転」では「買掛金・手形決済」、「諸経費の支払・納税」、「給与・賞与の支払い」「他の借入返済に充当」は増加しているが、「商品・原材料の現金買い」「新分野進出への準備金」は減少している。

資金使途	21年	20年	19年
設 備 製造機器・ラインの増設	6.9%	13.3%	16.9%
パソコン等のIT機器	5.2	4.3	2.4
車両等の購入	17.0	15.4	30.1
工場・店舗等の補修・改修	17.4	15.8	31.3
土地・建物の取得	2.0	4.7	15.7

	公害防止関係設備	0.3	1.4	2.4
	従業員福祉施設の設置	0	0.7	0.0
	新規事業に取組むための設営資金	6.6		
	その他	4.3	5.7	1.2
運	買掛金・手形決済	27.9	26.9	37.0
転	諸経費の支払い・納税	25.2	23.7	24.0
	商品・原材料の現金買い	16.4	21.9	17.1
	給与・賞与等の支払い	11.5	10.0	8.2
	他の借入返済に充当	9.2	6.5	12.3
	新分野進出への準備金	2.0	2.5	1.4

### (3) 借入時の重視条件(2つの複数回答)

前回と比べ、直接条件が5.8ポイント減少し、間接条件が5.7ポイント増加した。

借入時の重視条件		21年	20年	19年
直 接 条 件	金利が低い	60.7%	70.3%	66.3%
	条件が有利	43.9	41.9	42.5
	返済期間が手頃	23.3	21.5	21.3
間 接 条 件	日頃のつきあい	24.3	24.7	19.4
	近くにあって便利	13.8	11.1	17.5
	経営上の相談指導が得られる	17.7	14.3	16.3
	サービスが良い	2.6	3.2	5.6
	その他	1.3	0.7	0.6

### (4) 借入を考える場合、何が懸念されるか(2つの複数回答)

「業況の先行き見通し難」がトップで、次いで「借入後の返済力」と2項目は引き続き圧倒的に多い。

前回比「業況の先行き見通し難」「金融機関の対応」「信用保証協会の付保」がそれぞれ増加し、「業況の先行き見通し難」は70%を超えた。

何が懸念されるか	21年	20年	19年
業況の先行き見通し難	73.4%	68.8%	67.5%
借入後の返済力	65.2	65.9	60.6
連帯保証人	8.9	7.9	13.8
不動産担保余力	2.0	3.2	0.6
金融機関の対応	16.7	14.0	17.5
信用保証協会の付保	11.8	5.0	5.6
後継者難	2.3	5.4	2.5

その他	0	0.0	0.0
特になし	2.6	5.4	8.1

## 5 融資制度等

### (1) 国・県・市町村の融資制度の利用状況

前回調査と比べると、「ある」は4.9ポイント増加しており、逆に「ない」が6.5ポイント減少した。

「ある」を業種別に見ると、卸売業、製造業の順で高く、2業種共50%を超えている。一方で従業員の規模別では16~20人、11~15人の順で多くそれぞれ60%を超えた。

融資制度の利用	21年	20年	19年
あ る	44.3%	39.4%	46.7%
な い	51.1	57.6	51.8

### (2) 国や県、市町村の融資制度は経営(資金調達)の役に立っていますか。

経営に役立っていると回答した企業は、97.4%を占めている。

経営に役立っているか	21年	20年	19年
大変役に立っている	62.4%	60.3%	61.4%
まあ役たっている	35.0	36.1	36.1
あまり役にたっていない	1.3	1.5	1.4
役にたっていない	0.9	0.8	1.1

### (3) 国や県、市町村の融資制度を利用しなかった理由

前回調査に比べ、「利用する必要がない」が4.0ポイント増加している。また「メリットがない」「手続き面倒」「融資条件合致せず」で3.5ポイント増加した。

「制度を知らなかった」は3.9%で前回と同率であった。

その他には、今以上返済額を増やしたくない、既に借り入れた(1年以上前)高齢のため借り入れができない等があった。

利用しない理由	21年	20年	19年
利用する必要がない	74.2%	70.2%	69.9%
メリットがない	2.8	1.2	2.2
手続き面倒	5.2	4.6	8.9
融資条件合致せず	6.9	5.6	5.7
制度を知らなかった	3.9	3.9	3.2
その他	2.0	2.3	1.9

### (4) 国の緊急保証制度の活用状況

20年10月の制度新設を受け(4)(5)を設問する。

21年



活用した	8.7%
今後活用を検討している	16.4
本制度の活用は予定していない	67.1

#### (5) 県・市の緊急融資の活用状況

	21年
活用した	14.0%
今後活用を検討している	18.3%
本制度の活用は予定していない	59.5%

#### (6) 国(政府系金融機関)、県、市町村制度融資について、寄せられた意見全てを記載した。

- ・提出書類を減らし、融資実行までの時間を短くしてほしい。
- ・制度融資には保証協会の保証料がつけられるが、この保証料の全額助成を増やしていただきたい。
- ・もっと借入枠を増やしてもらいたい。借入を1つにまとめられる位。
- ・ただの資金が欲しい。
- ・国の制度融資で200万円の融資の話だったが、今の借入金を一度返済する形で保証料を30万円近くとられ、200万円の借入に対する保証料をとられる。なんの説明もなかった。借入しない方がよかった。
- ・企業内容によって借入枠を拡大してほしい。
- ・融資が増加するほど、各方面の税金が上がるような気がしてならない。
- ・零細土木・建設業には、あてはまらない。国・県は早く廃業しなさいと言っている。
- ・緊急保証制度はなぜ県と市町村にあるのか。一つあればいいと思う。
- ・金利は0にならないのでしょうか。
- ・保証協会から来ない方法にしてほしい。簡単に借りられる方法でお願いしたい。
- ・金利をもう少し低くしてほしい。
- ・借入や手続きは保証人や担保なしで簡単に早くスムーズに実行してほしい。
- ・緊急融資制度も借入ができない。日本政策金融公庫も門前払いされた。
- ・低金利の融資を希望。期間10年、年利1%程度の条件にて。
- ・お金は借りれば返すのがあたりまえ。自己資金で調達できればそれに越したことはないが、いざ資金がほしい時には無利子で借りる制度があればよいと思うが。
- ・金融機関の返済額が多すぎるため、(条件変更後)3ヶ年程度金利のみの返済にて金融機関が力になってくれれば、現在の状況下でも多少は営業にプラスになると思います。
- ・緊急融資制度を受け入れる対象を明確にしたものがほしい。
- ・積極的に情報提供してほしい。
- ・保証協会の審査をゆるくして欲しい。
- ・低金利と条件変更後の融資を望む。

- ・低い金利と貸出条件の緩和を望む。
- ・国、県、市の制度融資は、前年比売上減少の企業が対象ですが、企業努力で売上を伸ばした企業にも、もっと融資を行ってほしい。
- ・期間途中で条件変更及び返済は、出来るだけ制約のないように、又借入期間中での制約も少なくしてほしいものです。
- ・多額の元金の返済利息を少し下げしてほしい。

(7) マル経融資(日本政策金融公庫の公的融資制度)は、国の「経済危機対策」により、返済期間及び措置期間の延長、融資限度の引上げを本年4月15日商工会での受付から開始されましたが、どこがメリットになりますか。

本年の制度の改正を受けて質問した。「返済額の延長」「融資限度額の増大」を合わせ、55.2%がメリットになると回答した。

	21年
融資限度額の増大	26.2%
返済期限の延長	29.0
特にメリットはない	26.3

(8) 市町村合併によって、制度融資の利用状況の変化について。

合併に伴う市の制度融資の利用状況については、「利用しやすくなった」が1.3ポイント増加し「不便になった」は3.8ポイント減少した。「あまり変わらない」は67.6%を占めた。

	21年	20年
利用できる制度が増え利用しやすくなった	6.7%	5.4%
あまり変わらない	67.6	63.0
利用が不便になった	2.7	6.5

6 最近の諸制度についておたずねいたします。

(1) 19年10月に信用保証協会は「責任共有制度」を導入しましたが、これらについておたずねしました。

ア、最近1年間に、信用保証協会の保証付で借入をされましたか。

最近1年間に保証付で借入をした企業は、42.4ポイントと前年比較で10.8ポイント増加した。

借入	21年	20年	19年
借入をした	42.4%	31.6%	18.2%
借入はしていない	48.5	57.6%	77.9%

イ、円滑に保証手続きが進みましたか。

「円滑に保証をうけられた」と回答した企業は69.5%と前年比較で3.5ポイント減少した。一方「少し難しかった」「円滑でなく難しかった」は前年比較で3.7ポイント増加した。

	21年	20年	19年
円滑に融資がうけられた	69.5%	73.0%	69.4%
少し難しかった	25.8	21.2%	21.6%
円滑でなく難しかった	3.6	4.5%	2.7%
未記入	1.1	1.3%	6.3%

#### ウ、金融機関の態度にどのような変化がありましたか。

「審査が厳しくなった」「金利が高くなった」「提出書類が増え、時間を要するようになった」は46.2%と前年比較で7.0ポイント増加し、金融機関の態度にさまざまな変化が窺われる。

その他には、借入実行後あまり訪問しなくなった、書類が多すぎる・信保の提出書類が多かった等があった。

	21年	20年
金融機関の審査が厳しくなった	17.3%	11.9%
融資の金利が高くなった	2.0	5.8
従来よりも提出書類が増え、 融資実行まで時間を要するようになった	26.9	21.5
あまり変化はなかった	51.6	57.6
その他	0.9	0.3

#### (2) 信用保証制度について、ご意見があれば自由にご記入ください。

##### 全てを記載した。

- ・ 保証料をもっと安くしてほしい。
- ・ 金利をなるべく低くしてほしい。
- ・ 売上の先行きがわからない。じっとがまんするしかない。
- ・ せっかく金利が低いのに、保証料が高いなーと思います。
- ・ 保証制度があれば、民間の金融機関はいらないのでは。
- ・ 制度融資の種類が多すぎて理解できない。
- ・ あまりの景気の悪さに先が見えず、色々な制度を利用して頑張ろうという気になれず、不安な日々を送っている。制度がある事は良いがこわくて利用出来ない。
- ・ 兄弟会社の保証別々だったが、今合わせて見る為大変だ。
- ・ 提出資料を少なくしてほしい。
- ・ 信用保証協会も審査がきびしく、受付してもらえない。
- ・ 本当に経営が悪化し先行きに不安を生じた時に、融資を受けにくい方向になったのではと考えます。

- ・ 金融機関は非常に厳しくなった。中小零細企業の見方が以前より変化があるような気がする。
- ・ 7月以降に、富山県信用保証協会を利用しようと思っている。(利息が安い)
- ・ 銀行が20%負担することによって、貸出について厳しくなったと思う。これでいいのかもしれないが、企業対銀行の間がうまくいかなくなって来ているように思う。
- ・ 信用保証制度と担保の関係がよくわからない。銀行もくわしくその辺を説明しない。
- ・ 貸し渋りをしている(させている)様に感じる。(保証審査が厳しくなった)
- ・ 保証付の借入はしない予定。
- ・ 緊急時こそ信用保証枠を広げるべきである。信用保証協会は経営の実態が分かっていない。
- ・ 審査をゆるくしてほしい。
- ・ 過去に利用した時、借入金を途中繰上げ返済した時、保証料が返って来なかった。保証料を戻しても良いのではないか。

### (3) 「地域力連携拠点事業」の事業内容について

「相談したい」「説明をうけたい」は16.1%と前年比較で4.3ポイント増加した。

	21年	20年
関心があり取組みについて相談したい	8.2%	5.4%
内容に不明なところあり説明をうけたい	7.9	6.4
現在のところ特に関心がない	73.1	75.6
未記入	10.8	12.6

### (4) 従業員の雇用について

#### 「中小企業緊急雇用助成金制度」の利用状況

制度の見直しを受け設問した。

「制度を利用した」「今後、利用を検討している・検討したい」を合わせ、19.3ポイント回答している。

「制度を利用した」の従業員の規模別では、16~20人が21.2%と最も多く次いで21人の20.0%の順となっている。

	21年
制度を利用した	4.3%
制度を知っているが利用する予定はない	16.6
今後、利用を検討している	5.2
詳細に知らず、今後利用を検討したい	9.8
詳細に知らないが、利用する予定がない	51.3
その他	2.6

### (5) 商工会に期待する金融円滑化支援策等について、ご意見があれば自由にご記入くだ

さい。

全てを記載した。

- ・ 民間金融機関を通して制度融資を受けているが、商工会の金融支援がどの程度有利なのかよく分からない。また保証協会の保証料は一部自治体が補助してくれるものがあるが、残りを商工会等が助成するなどして実効金利低減につなげられないか。また質問の「支援策」とはどのような種類があり、選択肢があるのか、よく分からないのは私だけではないと思う。46の設問を設けるのであれば、支援策を今一度整理したものでPRを兼ねて、同封すべきではなかったか。
- ・ 商工会で取扱っている支援策等、金融円滑化支援策等が創設されたときは、各企業等に送ってほしい。
- ・ 商工会(職員)の休日を少なくしてください(相談が出来ない)。現況に合っていないのでは？。
- ・ 世の中の悪とされる土建業(小零細業者)には、関係ありません。公務員・官僚が責任を明確に取る世の中を期待する。商工会から国会議員を出してほしい。
- ・ 財務内容プラス地域貢献等、社会に協力している分も考慮すべき。
- ・ わからない事があるとすぐ返答して頂き、大変たすかっています。今後とも宜しく願います。
- ・ 我々のような零細企業はなかなか社内の整備ができていない為、せっかくある助成金制度を利用することができません。また、その助成金も実勢重視ではない為、なお利用が難しく思っています。そういった点にサポートをしていただければ助かります。
- ・ とにかくやって行けない。むずかしい。
- ・ 借入に際し、企業を応援してほしい。細かく指導してほしい。(アドバイスなど)
- ・ 雇用助成金制度について書類が多くわかりにくい 助成金がでるのが時間がかかる。商工会などでもっとカンタンに説明や手続きができるといいですね。
- ・ いつも情報を提供していただいて、ありがたく思っております。今後ともよろしく願います。
- ・ 金融支援よりも、商品の販売とか市場の開拓等の支援機関があれば相談したい。
- ・ 商工会から日本政策金融公庫を利用させていただいて、大変助かっています。
- ・ 売上高減少に伴う支援策についてあれば教えてほしい。
- ・ 金融円滑化支援策の内容や意味すらわかりません。意見を聞く前に説明を求めます。
- ・ 現在利用できる融資制度について、分かり易くご説明いただく機会(説明会等)を設けて頂きたい。
- ・ 情報提供をお願いしたい。
- ・ 情報提供をもっとして欲しい。
- ・ 現在もニーズに適した指導を受けているので、継続して欲しい。
- ・ 小回りで役立ってほしい。

- ・ 現在の支援を継続してもらいたい。
- ・ 対応、相談にはスピーディに対応してほしい。 提出資料や手続面等出来るだけ簡素化してほしい。 一般金融機関では出来ないメリットを生かしてほしい。
- ・ まったく知らなかった。一度説明を聞きたく思います。(雇用調整助成金制度)

以 上